

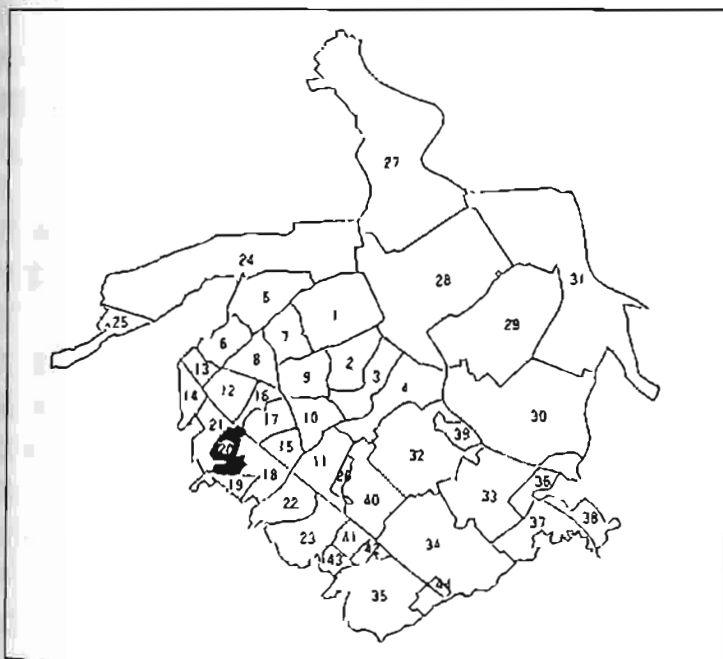
富士見市防災環境カルテ

鶴瀬西2丁目東 町会 位置番号 20
 鶴瀬西2丁目南、西2丁目北

概況

鶴瀬西2丁目東町会、鶴瀬西2丁目南町会、鶴瀬西2丁目北町会は、富士見市の西部に位置し、北側から南へ、そして西へ、権平川の上流に沿って延びる浅い谷（浸食凹地）と、この浅い谷で2分された台地（台地段丘）で形成されている。台地と盛土された浅い谷には、昭和32年から昭和37年にかけて住宅都市整備公団鶴瀬団地が建設されている。台地の南西部に住宅地が少し見られるが、不燃領域率が100%と高く（延焼が起らない）、木造建物の倒壊、出火の危険性も低い。そのため、全体的には地震災害に強い町会と予想される。しかし、南西部の木造建物密集地（東武富士見団地）では出火の危険性がやや高いと予想されるので、出火に対しては注意を要する。水害は浅い谷（浸食凹地）に集中する雨水が一時的に下水路から溢水する程度と予想される。

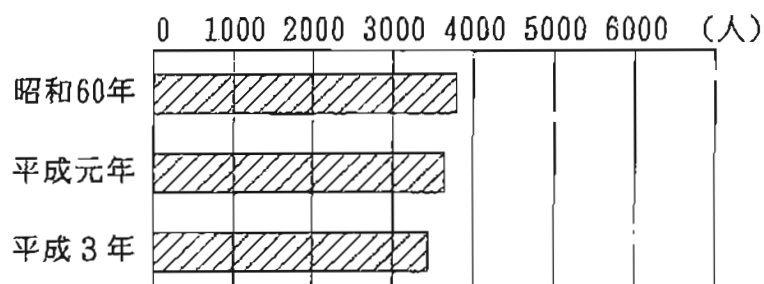
位置図



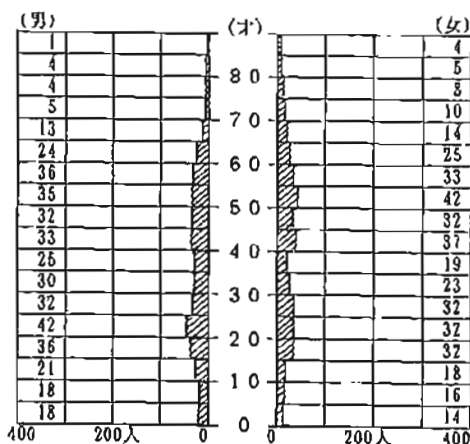
1. 基礎指標

| | |
|------------------|----------------------------------|
| ・面積 | 0.126 km ² |
| ・人口(平成3年10月1日現在) | 男 1,778人 女 1,778人 計 3,556人 |
| ・人口密度 | 28,222.2人/km ² |
| ・寝たきり老人数 | 6人 |
| ・ひとり暮らし老人数 | 58人 |
| ・世帯数 | 1,383世帯 |

人口推移



年齢別人口(平成3年)

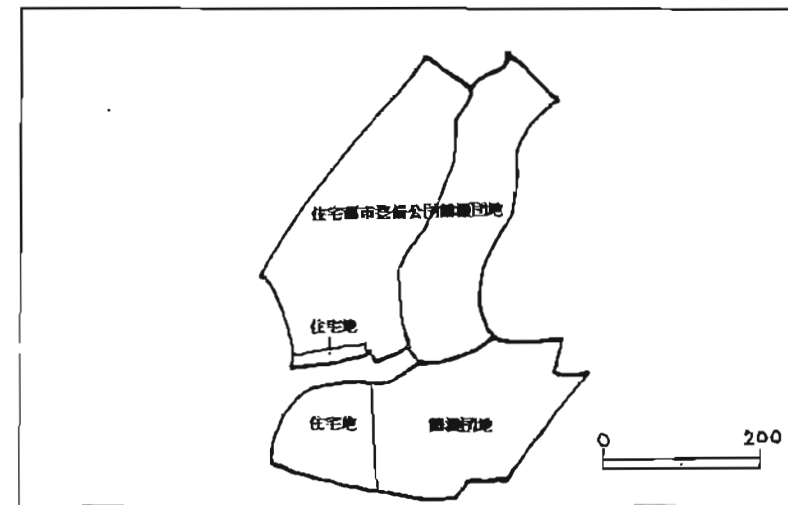


| | |
|------------|-------|
| ・商住工混在率住居系 | 94.1% |
| 店舗系 | 4.6% |
| 工業系 | 1.3% |

富士見市防災環境カルテ

鶴瀬西2丁目東 町会 位置番号 20
 鶴瀬西2丁目南、西2丁目北

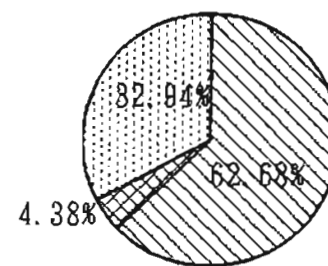
町会現況図



用途地域図



土地利用現況



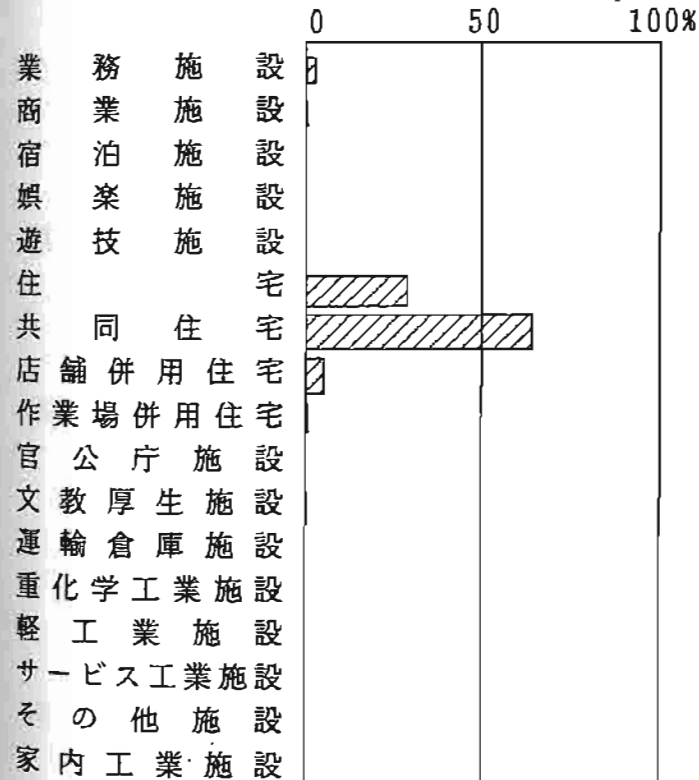
土地利用凡例

- 農地
- 山林・原野
- 市街地(宅地)
- 空地
- その他

2. 建物指標

| | |
|------------------|-------------|
| ・建物棟数 | 142棟 |
| ・木造建物 | 48棟 |
| ・非木造建物 | 94棟 |
| ・建物面積 | 54,588.60㎡ |
| ・木造建物 | 1,713.60㎡ |
| ・非木造建物 | 52,875.00㎡ |
| ※建物面積は1階の面積 | |
| ・住宅率 | 27.6% |
| ・木造率 | 33.8% (48棟) |
| ・昭和34年以前の木造家屋実棟数 | 4棟 |
| ・同上率 | 8.3% |
| ・建物階層別現況(木造建物) | |
| 1階 | 21棟 43.8% |
| 2階以上 | 27棟 56.2% |

・建物用途別現況



3. 道路空地指標

| | |
|-----------------|--------------|
| ・道路率 | 38本 301.6本/㎏ |
| ・幹線道路率 | 0本 0本/㎏ |
| ・公共空地面積 | 0㎡ |
| ・公共空地率 | 0% |
| ・1人あたり公共空地 | 0㎡/人 |
| ・公共空地内容(*指定避難所) | |
| 名称 | 面積 |
| 1. 高校 | 0㎡ |
| 2. 中学校 | 0㎡ |
| 3. 小学校 | 0㎡ |
| 4. 公園 | 0㎡ |

4. 消防指標

| | |
|-------------|--|
| 所轄消防署 | 入間東部地区消防組合富士見消防署 応援協定 所沢市、川越地区消防組合、 新座市、志木市各消防組合 |
| ・消火栓本数 | 11本 |
| ・1消火栓あたり世帯数 | 125.7世帯/本 |
| ・消防水利貯水施設数 | 3(0)か所 ()内は容量40トン以上の施設数 |
| ・消防団機械器具置場 | 0 |

5. 危険物指標

| | |
|----------------|-----|
| ・給油取扱所 | 0か所 |
| ・一般取扱所 | 0か所 |
| ・屋内・屋外(タンク)貯蔵所 | 0か所 |
| ・地下タンク貯蔵所 | 0か所 |

6. 既往災害

| | | | |
|-----------------|----|----|------|
| ・家屋浸水被害 | 床下 | 床上 | 道路冠水 |
| 昭和 年 月() | 棟 | 棟 | か所 |
| 年 月() | 棟 | 棟 | か所 |
| 年 月() | 棟 | 棟 | か所 |
| 年 月() | 棟 | 棟 | か所 |
| 年 月() | 棟 | 棟 | か所 |
| 年 月() | 棟 | 棟 | か所 |
| 年 月() | 棟 | 棟 | か所 |
| ・崖崩れ被害(年 ~ 年) | | | 0件 |
| ・火災出火件数(年 ~ 年) | | | 0件 |
| ・1923関東大地震被害 | | | |
| 家屋全壊 | | | 0戸 |
| 家屋半壊 | | | 0戸 |
| 被害率 | | | 0% |

7. 防災基盤施設

| | | |
|----------------|-----|-----------------|
| 消防 | 0か所 | |
| 病院 | 0か所 | |
| 医院 | 2か所 | 鈴木小児科医院、富士見歯科医院 |
| 休日診療所 | 0か所 | |
| 警察 | 0か所 | 警察署 派出所 |
| 水防施設 その他の施設 | 0か所 | |
| ・自主防災組織(数) | 0 | |
| ・自主防災組織参加世帯率 | 0% | |
| ・飲用井戸本数 | 0本 | |

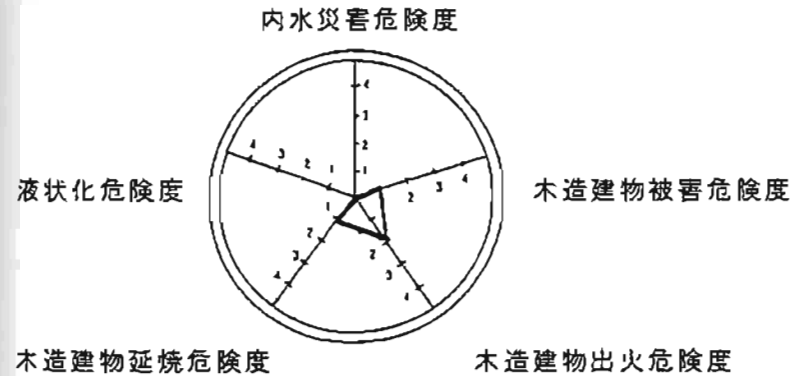
8. 危険度評価

| | |
|------------|------|
| ・内水災害危険度 | 0ランク |
| ・外水災害危険度 | 0ランク |
| ・土砂災害危険度 | 0ランク |
| ・木造建物被害危険度 | 1ランク |
| ・木造建物出火危険度 | 2ランク |
| ・木造建物延焼危険度 | 1ランク |

| | | | |
|-----|-----------|-------|------|
| 地盤 | 地盤の地震動危険度 | 浅い谷 2 | 1ランク |
| 危険度 | 液状化危険度 | | 0ランク |

※ 危険度評価ランク

| | | | | | |
|-----|---|---|---|---|---|
| 危険度 | 無 | 微 | 小 | 中 | 大 |
| ランク | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 |



9. 地盤条件

地盤は、台地で硬く、浅い谷（二階建不燃化集合住宅が建っている）では比較的軟らかい。台地部では震度5（+）（強震の強い方）、浅い谷では震度6（-）（烈震の弱い方）の地震が予想される。

10. 問題点の整理

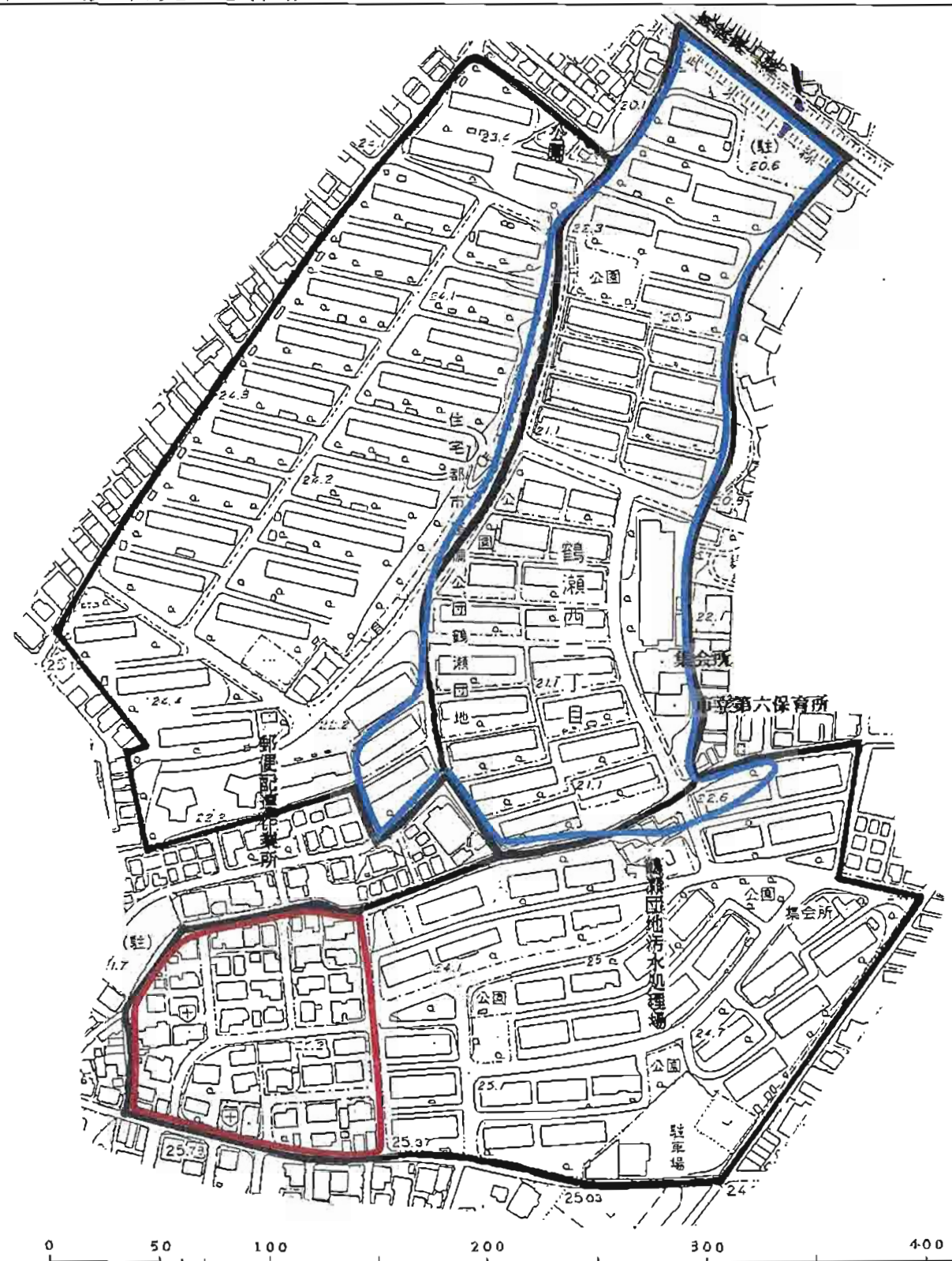
| 災害発生要因 | | 災害抑止要因 | |
|-----------|---|----------|---|
| 1. 内水災害 | 浅い谷（浸食凹地）には雨水が集中しやすく、浸水被害が予想される。 | 1. 水防能力 | 水防施設は無い。 |
| 2. 外水災害 | 無い。 | 2. 防災組織 | 無い。 |
| 3. 倒壊危険 | 地盤条件が良いため、倒壊の危険性は低い。 | 3. 消防能力 | 世帯数に比較して消火栓数が少ない。 |
| 4. 出火危険 | 出火の危険性は低い。ただし、南西部の木造家屋密集地域では出火の恐れがやや高いので注意を要する。 | 4. 防火能力 | 町会のほとんどが住宅都市整備公団鶴瀬団地（不燃化集合住宅）で占有されているため、防火能力は高い。しかし、木造家屋密集地域の防火能力は低い。 |
| 5. 延焼危険 | 不燃領域率が100%と高いため、延焼の危険性は低い。 | 5. 避難収容力 | 町会内には指定避難所は無いため、鶴瀬西小学校（鶴瀬西2丁目柴町会）を共用する。町会内では、南西部の木造建物密集地で地震火災が予想されるが、被害は少ないと思われるので、収容力は十分と思われる。 |
| 6. その他の災害 | 無い。 | | |

11. 解決の方向性

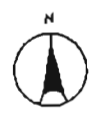
南西部にある木造家屋密集地域内の消火栓の増設が望ましい。（今は、消火栓は設置されていない。少なくとも1本は必要である。）避難可能な道路として、不燃化集合住宅地内にある生活道路を利用するが、路上駐車が多いことから規制等の対策が必要。また、浅い谷に盛土されて建設された2階建不燃化集合住宅地内の商店街にある看板の倒壊、自動販売機の転倒による生活道路の狭隘化に対しては、事前の予防対策の指導が望まれる。雨水の一時的集中により溢水しないよう十分な流量に対応できる下水路の整備または、貯留施設の設置が望まれる。ひとり暮らし、寝たきり老人、身体障害者（以下「災害弱者」という）については、地震災害発生時に①誰が②誰を③どこへ避難させるかの対応策等を福祉施設、病院、町会などで決めておく指導が必要である。また、災害弱者の安否の確認のため、老人福祉電話、緊急用電話（老人安心電話）、火災報知器兼非常ベル等の貸与が望ましい。

※ 想定震度 5（+）（強震（強））

防災現況図A(災害発生要因)



| 凡 例 | |
|------------------|--------------|
| ● | 給油取扱所 |
| ■ | 一般取扱所 |
| ⚠ | 危険物屋内タンク貯蔵所 |
| ⚠ | 危険物屋外タンク貯蔵所 |
| ⚠ | 危険物地下タンク貯蔵所 |
| ▲ | L P G 充 填 所 |
| △ | 橋 梁 |
| ▽ | 横断歩道橋 |
| △ | 立体交差 |
| ■ | 木造家屋密集地域 |
| — | 河川・水面 |
| ⚠ | 急傾斜地崩壊危険区域 |
| ■ | 盛 土 |
| ■ | 浅い谷・低地(谷底平野) |
| 既往浸水域(平成3年台風18号) | |
| ■ | 田の浸水域 |
| ■ | 田の被害区域 |
| ■ | 畑の被害区域 |
| ■ | 床上浸水域 |
| ■ | 床下浸水域 |



防災現況図B(災害抑止要因)



| 凡 例 | |
|-----|---------------------|
| | 消防署・出張所 |
| | 消防団機械器具置場 |
| | 水 防 施 設 |
| | 防火水槽・プール |
| | 警察署・派出所・駐在所 |
| | 市役所・出張所・公民館 |
| | 防災行政用無線子局位置 |
| | コミュニティ・集会施設 |
| | 保健所・保健センター |
| | 病 院 |
| | 医 院 |
| | 休 日 診 療 所 |
| | 指 定 避 難 所 |
| | 公 園 |
| | 河 川 ・ 水 面 |
| | 避 難 可 能 な 道 路 |
| | 幅員12m以上の道路 |
| | 幅員12m以上の道路 (計画中) |
| | 学 校 (小・中・高) |
| | 空地・水田・畑 |